

## 6 観光と連携したふれあいの里づくり

本県は、東京圏に近い有利な立地条件や富士山、南アルプス連峰、奥秩父山塊等の山々に囲まれた豊かな自然に恵まれ、多くの観光客が訪れています。また、ももやぶどうに代表される多彩な農産物、果樹園等が織りなす四季折々の農村景観は、貴重な観光資源となっています。

長引く経済不況等の影響を受け、本県を訪れる観光客は伸び悩んでいます。都市住民の中では、農林業等の生産活動について学び、交流や体験を行うグリーンツーリズム等、地域の資源を活用したニューツーリズムに着目するとともに、農村地域への定住等に願望を持つ人が多くなっています。

こうした中で、本県の農村の活性化を図るには、山梨特有の農村景観や食文化、伝統等の地域資源を十分に活かした、都市と農村の交流や地域づくりが必要です。

このため、地域住民や農業者が一体となった都市農村交流の推進、魅力ある交流拠点の整備と農村情報の発信等、観光と連携したふれあいの里づくりを進めます。

### 【数値目標】

項目	単位	基準(H18)	現状(H22)	目標(H26)
主要な交流施設の利用者数	千人	4,780	4,875	5,000
主要な交流施設における農業・農村体験者数	千人	160	233	250
企業の農園づくり等の農業・農村体験の受入地区数	地区	—	10	50

### (1) 都市農村交流の推進

持続的な都市農村交流を進めるためには、地域資源を活用した魅力ある体験メニューの提供が必要です。

このため、富士の国やまなし農村休暇邑協会と連携し、受入れ体制を強化するため、体験メニューの開発等、都市と農村との交流活動の橋渡し役を担う地域コーディネーターを育成するとともに、地域が主体的に活動できるような受け皿づくりを進め、農村文化や郷土食等、農村資源を活用した多彩な体験メニューの提供等を推進します。

#### ① 地域資源や食材の活用

- 伝統野菜、完熟もも等の地域特産物を観光客に提供する仕組みづくりや、優れた農村景観、農村文化、食材の開発、加工施設の整備等に関する支援を行うとともに、地域住民が一体となった交流プログラムの開発を促進します。
- 地域特産物を活用した加工品開発等を促進するため、専門家による加工方法や商品化等のアドバイスを行うとともに、パッケージや販促資材の開発等、流通・販売に関する支援を行います。

- 捕獲したニホンジカ等を貴重な食肉資源(ジビエ※1)として有効活用する取組を支援するため、関係者間の連携を促進するとともに、捕獲から流通・加工の安全性を確保するための指導を実施します。

内 容	H23	H24	H25	H26	備 考
○ 地域資源の発掘、活用	→	→	→	→	
	資源の掘り起こし支援				
○ 地域特産物を活用した加工品開発支援	→	→	→	→	
	支援				
○ ジビエの活用促進に向けた市町村等への指導・助言	→	→	→	→	
	支援				

※1 ジビエ:狩猟の対象となり食用とする野生の鳥獣またはその肉

## ② 多彩な体験メニューの提供

- 農業・農村を社会貢献や社員教育、福利厚生の場として活用しようとする企業の取組(企業の農園づくり)を支援するため、企業を受け入れる農村地域の育成やマッチングを推進します。
- 都市住民等が参加し、JAや農家と一体となって醸造用甲州種の栽培に携われる仕組みづくりを推進します。
- 山梨の特性を活かしたグリーンツーリズムを創出し、日帰り型から滞在型までの多彩な体験メニューを提供できるよう、富士の国やまなし農村休暇邑協会による交流体験ツアーのプログラムづくり等を支援します。
- 小中学校の農業体験等を組み込んだ多様な体験型教育旅行に対応するため、農村体験メニューづくりや農家体験民宿の開業を支援します。

内 容	H23	H24	H25	H26	備 考
○ 企業・農村地域へのアプローチとマッチング	→	→	→	→	関連する数値目標 ・企業の農園づくり等の農業農村体験の受入地区数 ・主要な交流施設の利用者数 ・主要な交流施設における農業・農村体験者数
	随時				
○ 交流体験ツアーのプログラムの開発、実施支援	→	→	→	→	
	4企画	4企画	支援		
○ 体験メニュー集の作成、メニュー充実への支援	→	→	→	→	
	情報提供等				
○ 農家体験民宿の開業等への支援	→	→	→	→	
	支援				

### ③ 観光農業に適した作目・品種、栽培方法等の導入推進

- 地域特産物を新たな観光資源として利用する取組や観光に適した作目・品種、栽培方法等の導入について技術支援を進めます。
- 標高差を利用した産地間リレーや地域内の複数品目の組み合わせ等、長期間の集客を可能とする取組を促進します。

内 容	H23	H24	H25	H26	備 考
○ 観光に適した品目導入や技術支援	→	→	→	→	
	随時				
○ 収穫体験の長期化のための情報提供、技術支援	→	→	→	→	
	随時				

## (2) 交流拠点等の整備と農村情報の発信

近年、都市住民を中心にゆとりややすらぎへの願望、健康志向の高まりから、農山村での滞在や体験活動を求める動きが出ており、こうしたニーズに対応することが必要です。

このため、交流拠点施設及びアクセス道路等を整備するとともに、県内外への農村情報の発信等を推進します。

### ① 魅力ある交流施設等の整備

- 農山村地域における都市と農村の交流を促進するため、農村景観や自然環境の保全に向けた取組を進めます。
- 農業に親しむ場を提供するため、市民農園、農家体験民宿、加工体験施設等の整備を支援するとともに、耕作放棄地等の有効活用に向けた取組を推進します。
- 二地域居住や定住を志向する都市住民のニーズに対応するため、滞在型の市民農園(クライנגアルテン)や集落道、給水・排水施設等の整備を支援します。
- 農村地域へのアクセス道路等の整備を推進します。

内 容	H23	H24	H25	H26	備 考
○ 地域間交流拠点等の整備	→	→	→	→	関連する数値目標 ・主要な交流施設の利用者数
	3地区	支援			
○ アクセス道路等の整備	→	→	→	→	
	8箇所	6箇所	整備		

## ② 農村情報の県内外への発信

- 直売所や交流施設などの農村地域の情報を、県のホームページをはじめ、富士の国やまなし農村休暇協会のパフレット、旅行代理店への誘客促進活動等を通じて、県内外に向けて積極的に発信します。
- 二地域居住の促進により、本県の交流・定住人口の増加を図るため、官民協働で行う首都圏等での相談会の開催や本県での暮らし(やまなしライフ)に関する情報提供等の支援を通じ、田舎暮らしに関する情報を発信します。

内 容	H23	H24	H25	H26	備 考
○ 県ホームページ等による農村地域情報の発信	→	→	→	→	
随時					
○ ガイドブックやホームページへの農業・農村情報の提供	→	→	→	→	
随時					
○ 農業・農村情報の提供による甲斐適生活相談会等の開催への支援	→	→	→	→	
随時					

